



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社

コード番号 4112 URL <https://www.hodogaya.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松本 祐人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 毛利 康宏 TEL 03-6852-0327

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	31,642	△0.6	2,412	△23.0	3,012	△15.9	1,563	△9.9
2023年3月期第3四半期	31,824	2.3	3,132	△37.1	3,581	△32.5	1,734	△38.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,773百万円 (52.2%) 2023年3月期第3四半期 3,136百万円 (△9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	197.09	-
2023年3月期第3四半期	219.03	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	78,038	54,963	58.9
2023年3月期	72,051	49,897	59.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 45,954百万円 2023年3月期 42,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	32.50	-	32.50	65.00
2024年3月期	-	37.50	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	8.5	3,900	5.4	4,300	2.1	2,400	7.9	302.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	8,413,726株	2023年3月期	8,413,726株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	477,046株	2023年3月期	489,635株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	7,934,301株	2023年3月期3Q	7,920,928株

※ 四半期決算短信は従来より監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の持ち直しが見られ緩やかな回復基調となりましたが、継続している不安定な国際情勢等の影響によるエネルギー価格の高止まり、円安の長期化、それらに伴う物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況は継続しています。

このような情勢下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比181百万円減（0.6%減）の31,642百万円になりました。

損益面では、営業利益は、前年同期比719百万円減（23.0%減）の2,412百万円となりました。

また、経常利益は、前年同期比568百万円減（15.9%減）の3,012百万円、

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比171百万円減（9.9%減）の1,563百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

[機能性色素セグメント]

イメージング材料事業は、プリンター向け材料の需要が海外を中心に引き続き低迷しており、大幅な減収となりました。

色素材料事業は、繊維向け染料の海外での需要が堅調に推移し、

アルミ着色用染料もスマートフォン向けを中心に引き続き販売が増加したこと等から、大幅な増収となりました。

有機EL材料事業は、当社の子会社におけるPCR診断キット用材料の需要が引き続き低迷しているものスマートフォン向けを中心とするディスプレイ分野において、有機EL材料の需要増に加え、為替影響による増収効果もあり、有機EL材料事業全体としては大幅な増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比1,282百万円増（9.1%増）の15,298百万円となりました。

[機能性樹脂セグメント]

建築材料事業は、材料販売を中心に需要が回復基調にあり、増収となりました。

一方、医薬向け及び剥離剤向け特殊化学品事業での需要が引き続き低迷し、

また、樹脂材料事業においても、海外向けを主とするウレタン材料の在庫調整の影響等を受け、大幅な減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比2,152百万円減（26.0%減）の6,113百万円となりました。

[基礎化学品セグメント]

過酸化水素は、一部で需要減が見られるものの、コスト上昇分の価格転嫁を進めたことで、前年同期並みを確保しました。

過炭酸ナトリウムも価格転嫁に加え、需要の回復並びに新規顧客の取り込みにより、大幅な増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比500百万円増（9.3%増）の5,859百万円となりました。

[アグロサイエンスセグメント]

一部製品で、海外顧客の在庫調整に伴い、大幅な輸出の減少が見られたものの、

家庭園芸向け除草剤にて需要が回復し、さらにゴルフ場向け除草剤での需要好調により大幅な増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比361百万円増（13.6%増）の3,024百万円となりました。

[物流関連セグメント]

中国をはじめとする海外での景気減速により、輸出貨物の取り扱いが低迷し、大幅な減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、前年同期比229百万円減（15.8%減）の1,223百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(12月末)における資産合計は、78,038百万円となり、前連結会計年度末(3月末)比5,987百万円の増加となりました。

主な増減要因は、有形・無形固定資産の増加4,036百万円、現金及び預金の増加2,761百万円、長期貸付金の減少1,210百万円等であります。

負債合計は、23,075百万円となり、前連結会計年度末比921百万円の増加となりました。

主な増減要因は、その他流動負債の増加1,093百万円、繰延税金負債の増加442百万円、短期・長期借入金の減少793百万円等であります。

純資産合計は、54,963百万円となり、前連結会計年度末比5,066百万円の増加となりました。

主な増減要因は、非支配株主持分の増加1,946百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,249百万円、利益剰余金の増加1,131百万円、為替換算調整勘定の増加700百万円等であります。

以上の結果、自己資本比率は58.9%となり、前連結会計年度末の59.5%から0.6ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,487	13,249
受取手形、売掛金及び契約資産	12,982	11,212
商品及び製品	7,707	8,178
仕掛品	1,412	1,583
原材料及び貯蔵品	2,905	2,644
その他	1,155	966
貸倒引当金	△54	△19
流動資産合計	36,596	37,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,276	8,527
土地	11,712	11,728
その他(純額)	5,740	7,189
有形固定資産合計	23,729	27,445
無形固定資産		
のれん	32	24
ソフトウェア	171	225
その他	37	312
無形固定資産合計	241	562
投資その他の資産		
投資有価証券	8,524	9,961
長期貸付金	1,341	131
繰延税金資産	211	355
その他	1,425	1,786
貸倒引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	11,483	12,217
固定資産合計	35,454	40,224
資産合計	72,051	78,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,600	4,689
短期借入金	5,289	5,083
未払法人税等	330	611
引当金	565	364
契約負債	14	22
その他	2,172	3,266
流動負債合計	12,972	14,037
固定負債		
長期借入金	5,232	4,644
引当金	—	215
繰延税金負債	1,638	2,080
再評価に係る繰延税金負債	1,228	1,228
退職給付に係る負債	81	92
資産除去債務	81	103
その他	918	674
固定負債合計	9,181	9,038
負債合計	22,153	23,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	7,943	7,933
利益剰余金	18,612	19,743
自己株式	△1,640	△1,592
株主資本合計	36,111	37,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,544	3,794
土地再評価差額金	2,784	2,784
為替換算調整勘定	1,395	2,095
その他の包括利益累計額合計	6,723	8,673
非支配株主持分	7,061	9,008
純資産合計	49,897	54,963
負債純資産合計	72,051	78,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	31,824	31,642
売上原価	19,128	19,515
売上総利益	12,695	12,127
販売費及び一般管理費	9,562	9,714
営業利益	3,132	2,412
営業外収益		
受取利息	83	126
受取配当金	289	290
為替差益	30	146
固定資産賃貸料	44	42
雑収入	93	121
営業外収益合計	542	727
営業外費用		
支払利息	37	57
環境関連整備費	46	62
雑損失	9	8
営業外費用合計	93	127
経常利益	3,581	3,012
特別利益		
投資有価証券売却益	57	—
固定資産売却益	67	0
特別利益合計	124	0
特別損失		
固定資産除却損	31	12
投資有価証券評価損	8	37
本社移転費用	19	—
特別損失合計	59	50
税金等調整前四半期純利益	3,646	2,962
法人税等	1,029	666
四半期純利益	2,616	2,295
非支配株主に帰属する四半期純利益	882	732
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,734	1,563

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,616	2,295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△103	1,249
為替換算調整勘定	622	1,228
その他の包括利益合計	519	2,477
四半期包括利益	3,136	4,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,033	3,513
非支配株主に係る四半期包括利益	1,103	1,260

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,646	2,962
減価償却費	1,390	1,729
のれん償却額	9	9
引当金の増減額 (△は減少)	△282	△25
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6	10
受取利息及び受取配当金	△373	△417
支払利息	37	57
為替差損益 (△は益)	82	△11
有形固定資産売却損益 (△は益)	△67	△0
有形固定資産除却損	31	12
投資有価証券評価損益 (△は益)	8	37
投資有価証券売却損益 (△は益)	△57	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,266	2,005
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,190	146
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,020	△19
その他の資産・負債の増減額	221	△263
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△422	437
その他	11	△95
小計	2,339	6,575
利息及び配当金の受取額	343	478
利息の支払額	△37	△58
法人税等の支払額	△1,726	△714
法人税等の還付額	—	262
営業活動によるキャッシュ・フロー	919	6,542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,857	△2,235
定期預金の払戻による収入	541	4,009
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,446	△3,866
有形及び無形固定資産の売却による収入	69	0
有形固定資産の除却による支出	△9	△8
資産除去債務の履行による支出	△72	—
投資有価証券の取得による支出	△52	△1
投資有価証券の売却による収入	282	—
有価証券の償還による収入	522	—
貸付けによる支出	△1,050	△56
貸付金の回収による収入	44	32
差入保証金の差入による支出	△126	△268
差入保証金の回収による収入	184	106
長期前払費用の取得による支出	△0	△1
その他	△33	△87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,003	△2,377

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△733	△793
配当金の支払額	△236	△261
非支配株主への配当金の支払額	△253	△174
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△1	△1
リース債務の返済による支出	△98	△103
社債の償還による支出	—	△54
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△987	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	689	△1,388
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	227
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,326	3,004
現金及び現金同等物の期首残高	10,365	6,708
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	1,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,038	10,993

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間よりREXCEL CO., LTD. は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

株式給付信託 (J-ESOP)

当社は、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託 (J-ESOP)」を導入しております。

①取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。

当社は従業員に対し、毎年利益に関して一定の条件を満たした場合の利益水準に応じてポイントを付与し、退職時に当該付与ポイントに相当する当社株式を給付します。

従業員に対し給付する株式は、予め信託設定した金額により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額 (付随費用の金額を除く。) により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度264百万円、80,000株、当第3四半期連結会計期間264百万円、80,000株であります。

(取締役等に対する業績連動型株式報酬制度)

業績連動型株式報酬 (BBT)

当社は、2023年6月27日開催の第165回定時株主総会決議に基づき、取締役 (社外取締役及び監査等委員である取締役を除きます。) 及び執行役員 (以下「取締役等」といいます。) に対する新たな中長期業績連動報酬として業績連動型株式報酬制度「(BBT (=Board Benefit Trust))」 (以下、「本制度」といいます。) を導入しております。

①取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託 (以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。) を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。

なお、取締役等が当社株式の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する自社株式を、信託における帳簿価額 (付随費用の金額を除く。) により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第3四半期連結会計期間407百万円、123,000株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
外部顧客に 対する売上高	14,016	8,266	5,359	2,662	1,452	31,757	67	31,824	—	31,824
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	239	134	165	—	1,241	1,781	137	1,918	△1,918	—
計	14,255	8,401	5,524	2,662	2,694	33,538	204	33,742	△1,918	31,824
セグメント利益 又は損失(△)	2,562	667	△474	111	255	3,121	10	3,132	△0	3,132

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1) 機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、PCR診断キット用材料、各種染料等
- (2) 機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
- (3) 基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料
- (4) アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
- (5) 物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性 色素	機能性 樹脂	基礎 化学品	アグロ サイエンス	物流関連	計				
売上高										
外部顧客に 対する売上高	15,298	6,113	5,859	3,024	1,223	31,520	122	31,642	—	31,642
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	386	170	128	—	1,093	1,778	140	1,919	△1,919	—
計	15,684	6,284	5,987	3,024	2,316	33,298	263	33,562	△1,919	31,642
セグメント利益	2,011	21	150	43	181	2,408	2	2,411	1	2,412

(注1) 各セグメントの主な製品

- (1)機能性色素・・・トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、有機EL材料、PCR診断キット用材料、各種染料等
- (2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、接着剤、剥離剤、ウレタン系各種建築・土木用材料、防水・止水工事
医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
- (3)基礎化学品・・・過酸化水素及び誘導品、その他工業用基礎原料
- (4)アグロサイエンス・・・除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
- (5)物流関連・・・倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、研究受託業務等であります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(注4) セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。